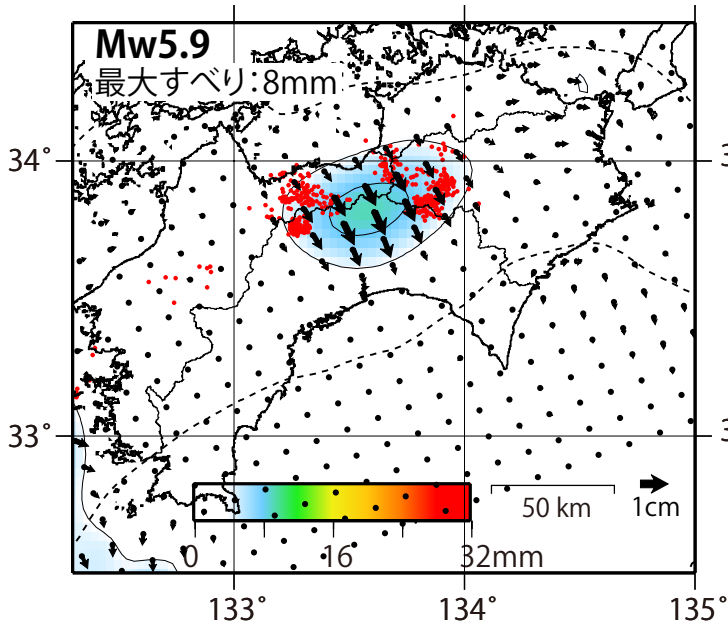


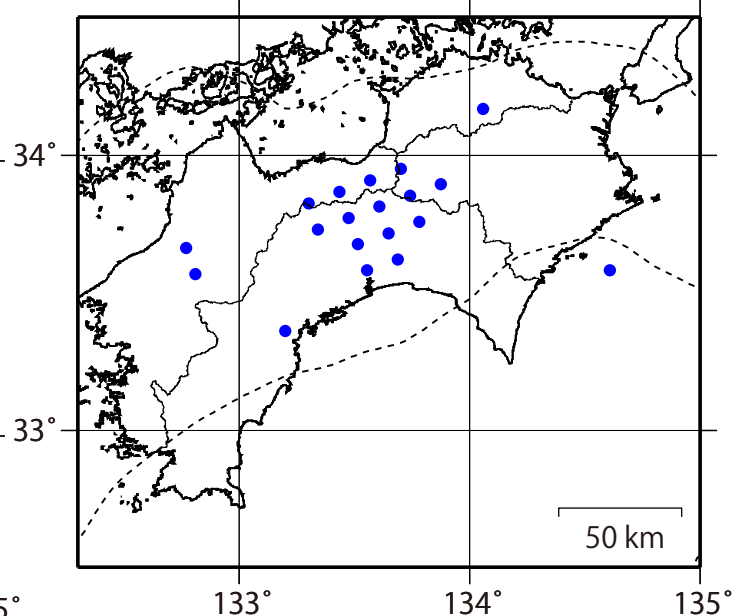
四国中部の深部低周波微動と同期したスロースリップ(暫定)

2018/10/27-11/12

すべり分布(推定)

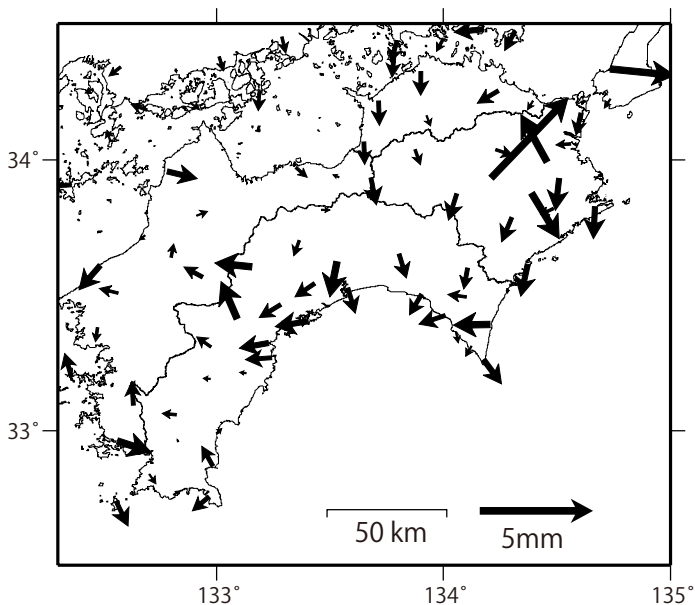


推定すべりが有意と判断されるグリッド



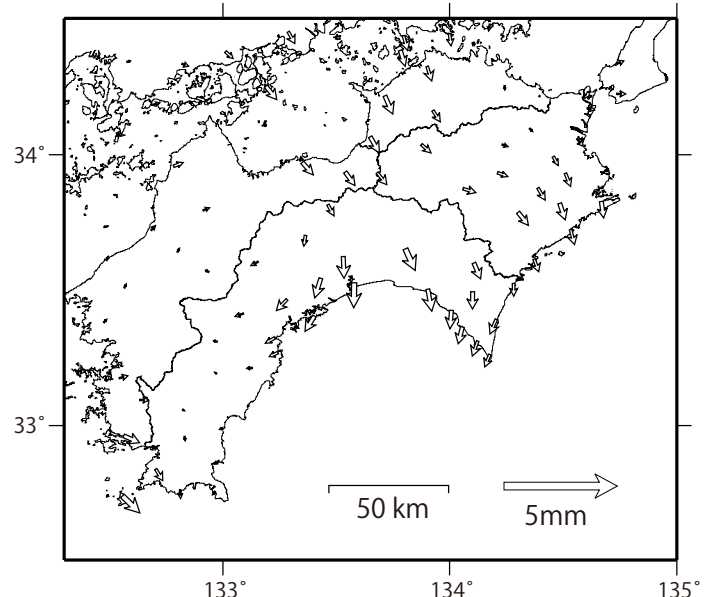
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上の場合を有意と判断

観測値(黒)



全体としての並進を取り除き、10/17-27の平均と
11/12-22の平均の差をとった値

計算値(白)



データ:F3解

トレンド期間:2006/1/1-2009/1/1

黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他、2007)

赤丸:低周波地震(気象庁一元化震源)

固定局:三隅

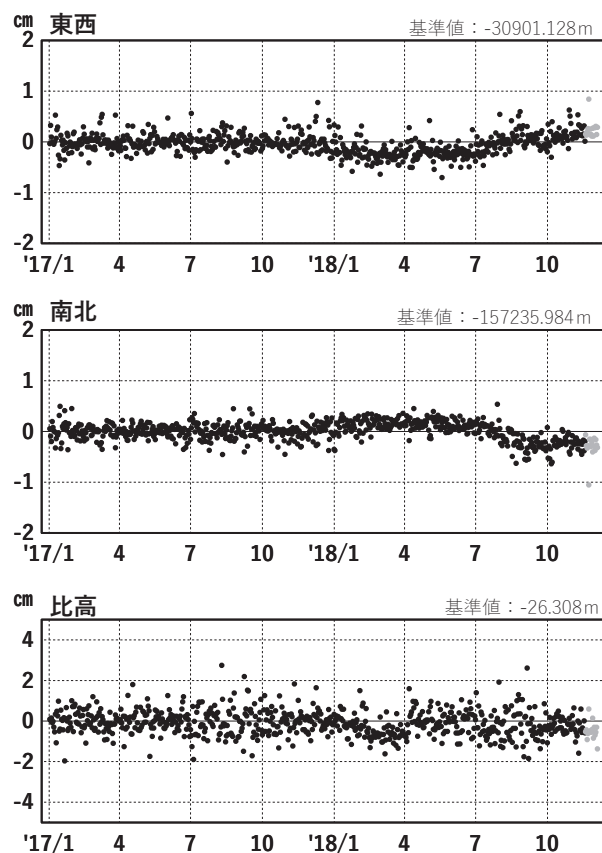
九州北部 G N S S 連続観測時系列

1 次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

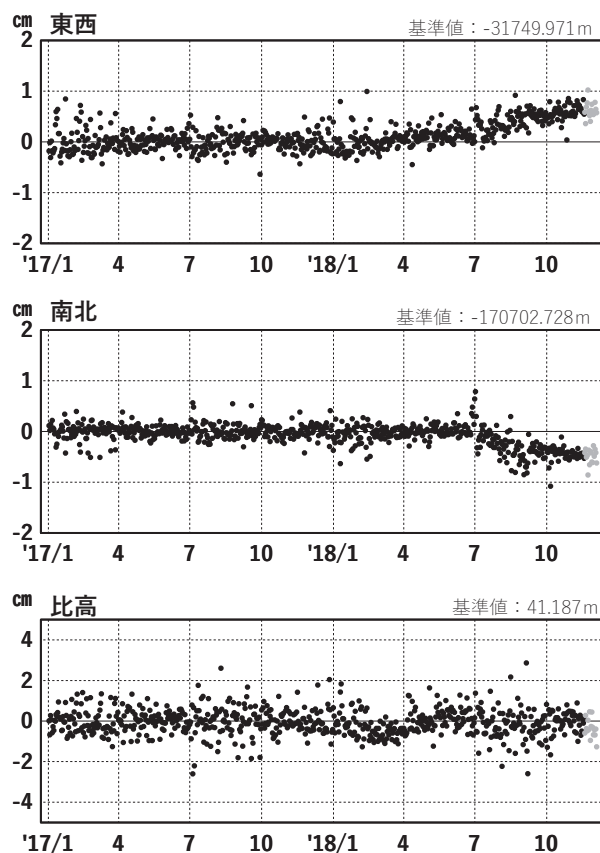
期間: 2017/01/01~2018/12/04 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

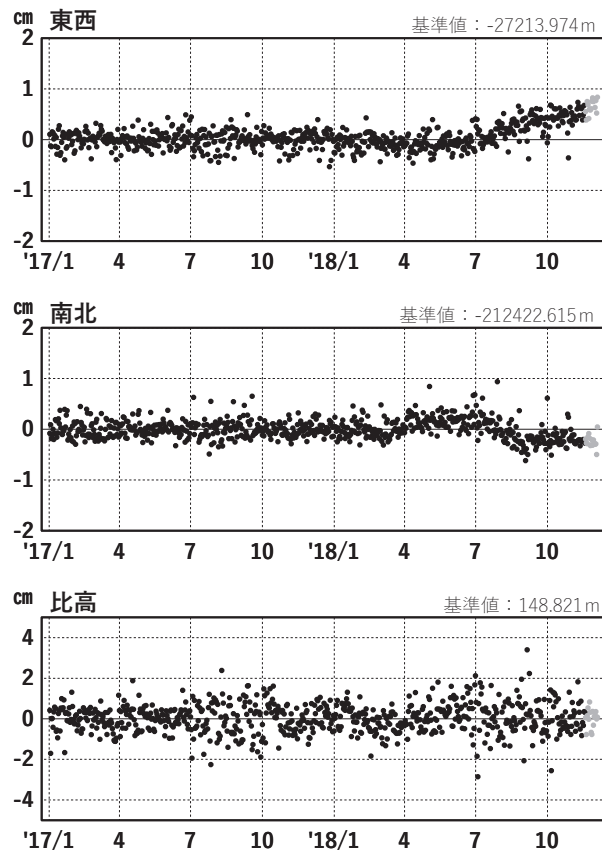
(1) 三隅(950388)→日出(960706)



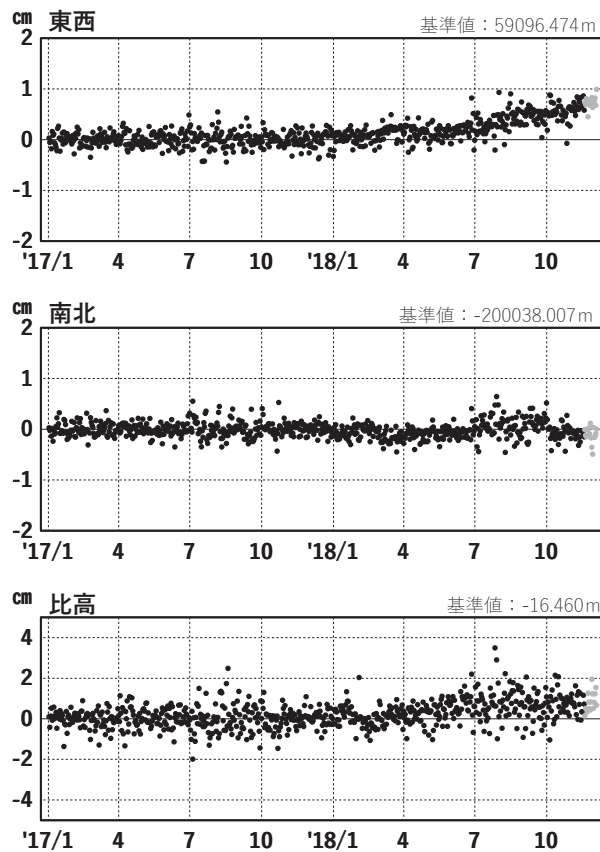
(2) 三隅(950388)→大分(960709)



(3) 三隅(950388)→宇目(021082)



(4) 三隅(950388)→御荘(950437)

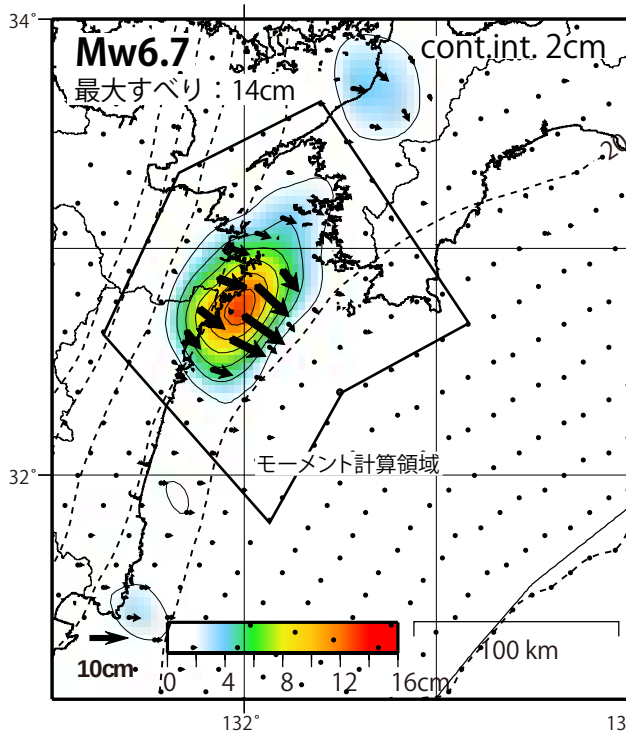


●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

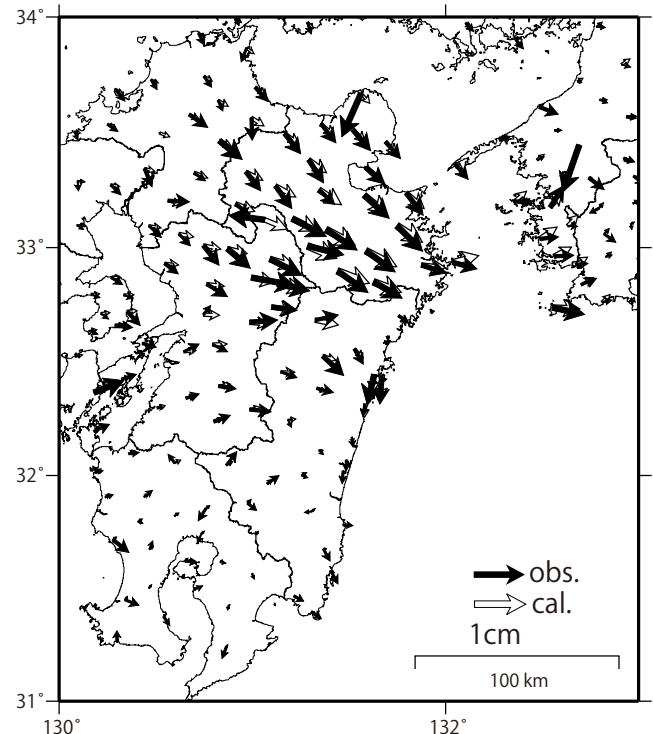
日向灘北部において推定される長期的ゆっくりすべり(暫定)

2018/2/11-11/8

すべり分布(推定)

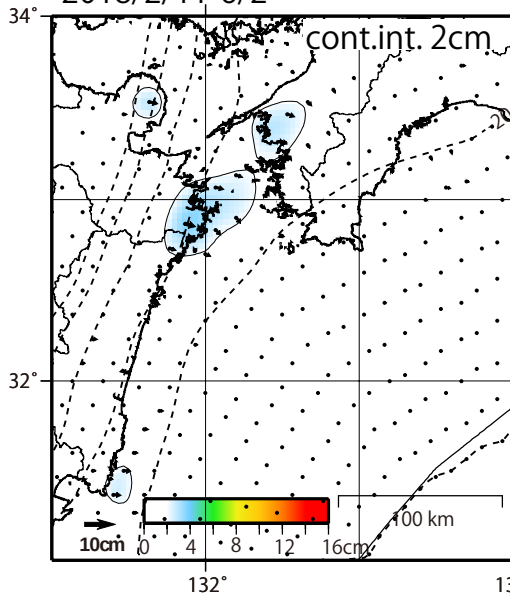


観測値(黒)と計算値(白)

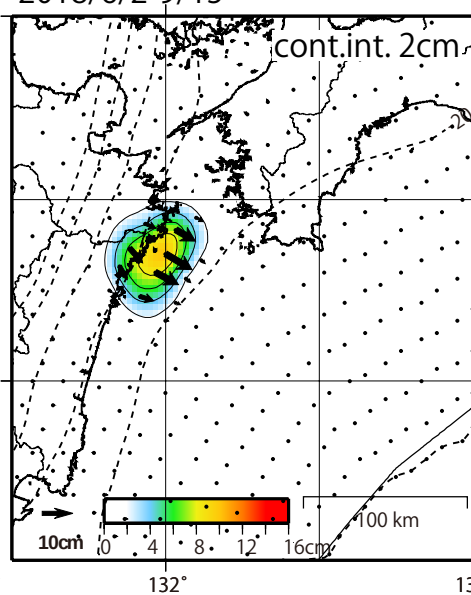


カルマンフィルターで平滑化した値

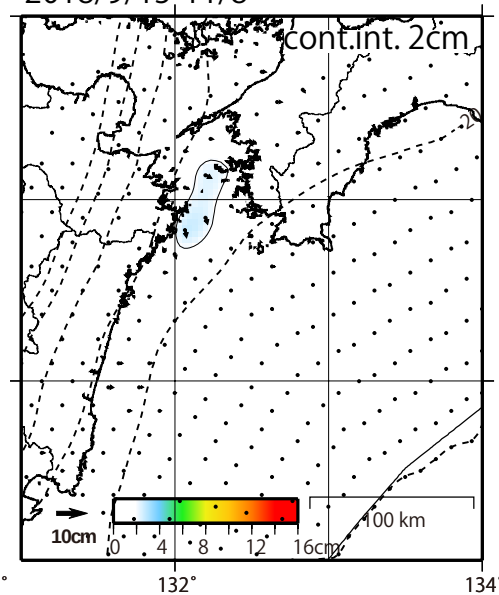
2018/2/11-6/2



2018/6/2-9/15



2018/9/15-11/8



モーメントの時間変化



データ:F3解(～10/25)+R3解(10/26～11/8)

トレンド期間:2017/1/1-2018/1/1

黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他、2007)

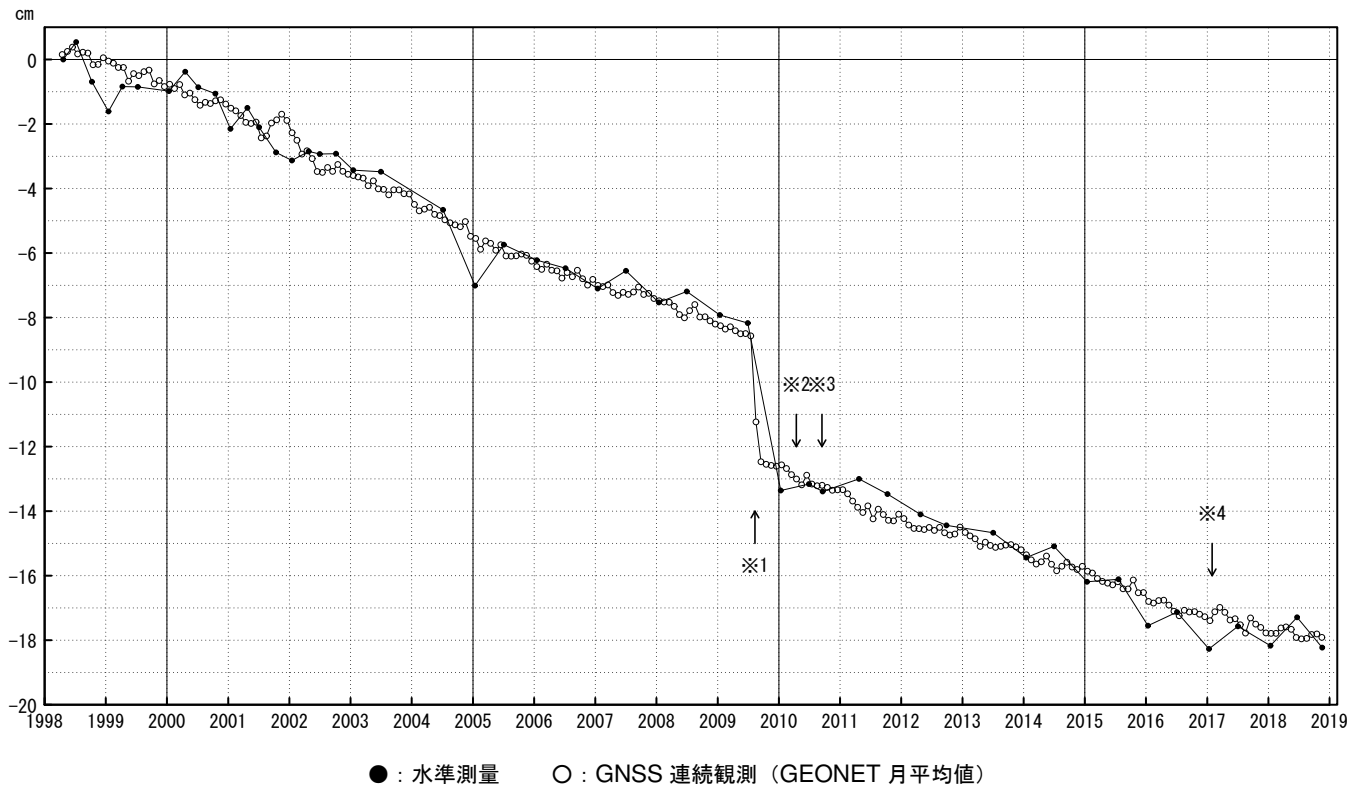
固定局:三隅

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

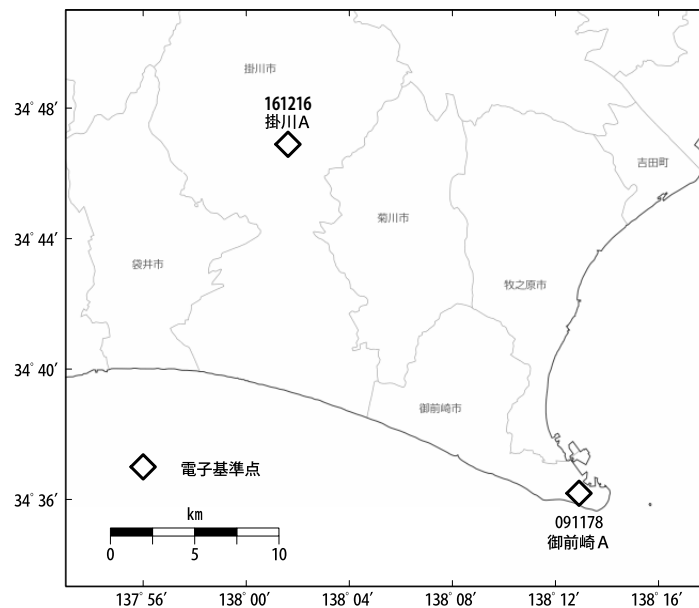
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



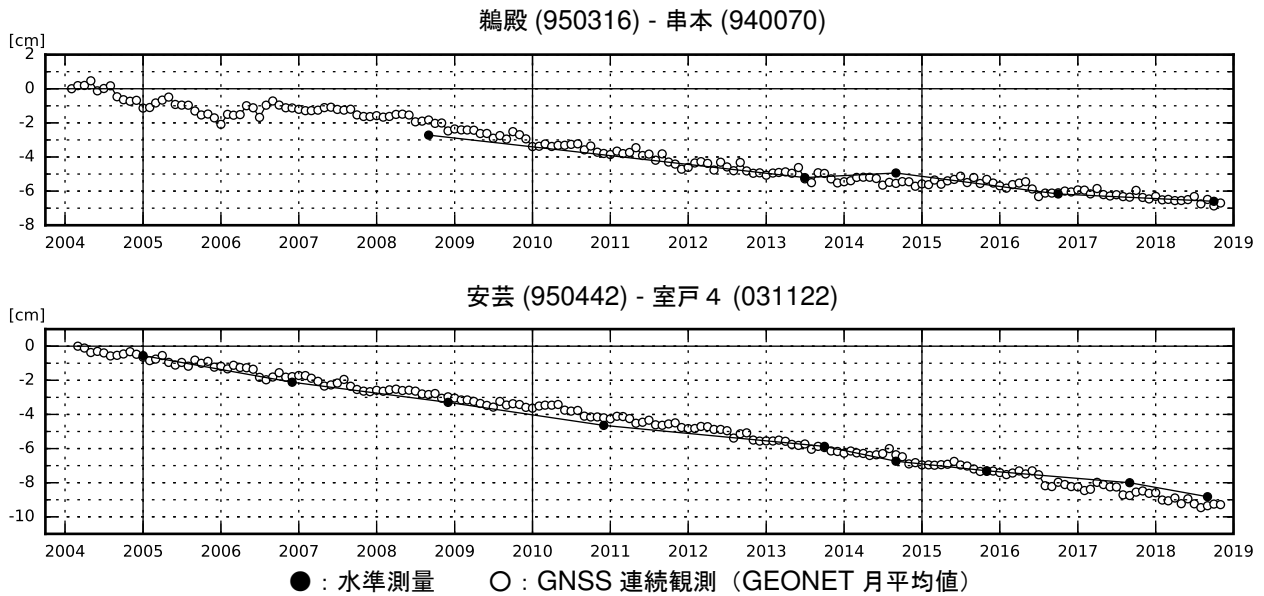
・ 最新のプロット点は 11/01～11/17 の平均。

- ※1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。

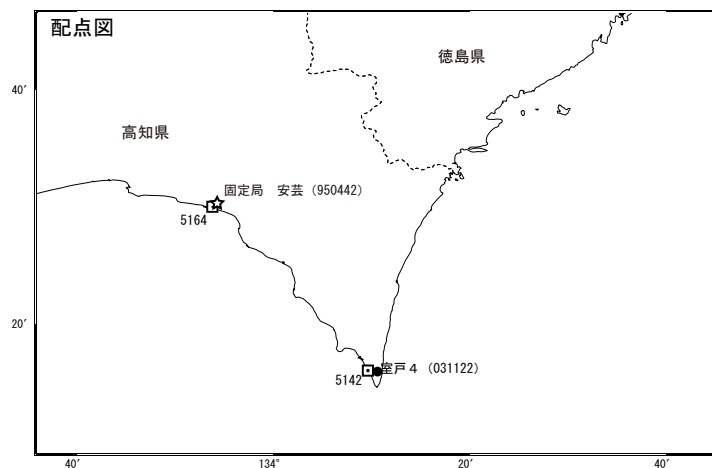
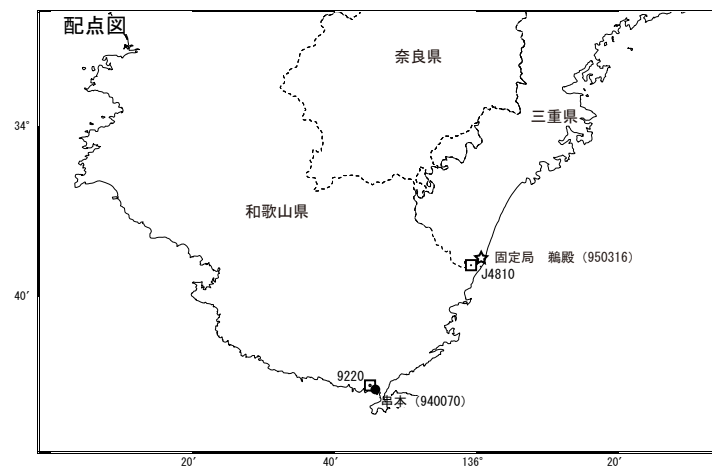


紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

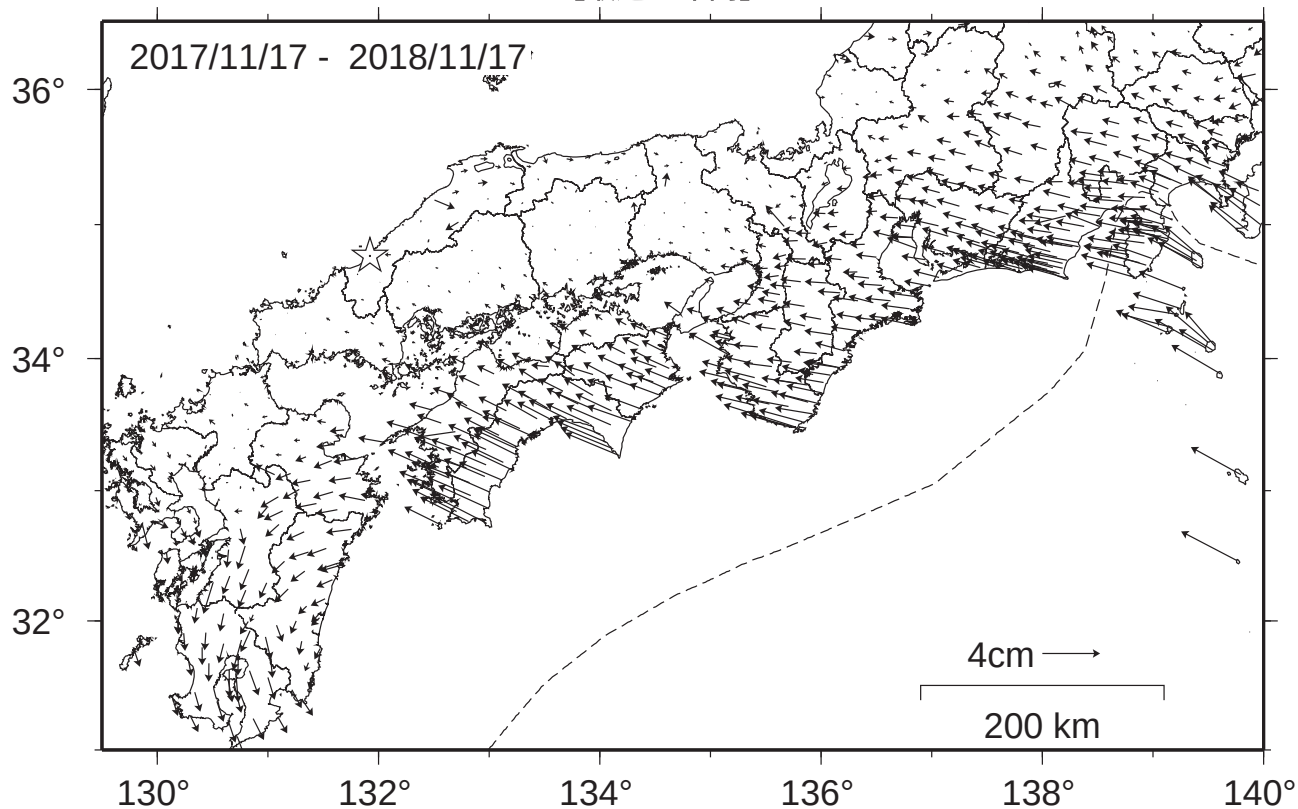


- ・ 最新のプロット点は 11/1～11/17 の平均。
- ・ 水準測量による結果については、最寄りの一等水準点の結果を表示している。



南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



【1年前の1年間】

